

常任委員会 活動報告

●総務常任委員会 行政視察 7月13日

【ウィンドファームつがる】

ウィンドファームつがるは、令和2年4月から運転を開始した国内最大の風力発電所で、メロンロード沿いに建設された大型風車38基で、一般家庭約9万世帯分を発電している。

運営・事業主体であるグリーンパワーつがる合同会社の事務所を訪問し、担当者より運営状況等事業概要の説明を受けた。委員から「地権者や売電先（東北電力）との契約は20年ということだが、その後はどうなるのか」との問いに、「今の制度では売電先が20年ということになっているが、国の自然エネルギーを増やしていく方向性からすると20年以降について新たな制度ができるのではないかと。欧米では40年くらい回っている風車もあるし、自然エネルギーが欲しい企業が増えている」との回答があった。

その後、実際の風車を見学し、回転している羽根の音の大きさなどを確認した。



売電収益の一部を市に寄附しています



事業概要の説明を受ける



立地場所で運転状況を確認

●経済建設常任委員会 所管事務調査 6月29日

【屏風山牧野】

屏風山牧野は車力地区にある公共牧場で、**屏風山畜産組合**に管理運営を委託している。牧野は草地造成から20年経過し、草地の生産性が低下しているほか、畜産業については、高齢化や後継者不足による労働力不足などが問題となっている。これらに対応するため、低コストで生産性の高い肉用牛経営の実現を目的に**草地畜産基盤整備事業**において草地造成や家畜保護施設、農機具等を整備した。今回は家畜保護施設を見学し、委員からは畜産業の現状について質問や意見が出た。

【メロン水耕栽培実証実験】

本市におけるメロンの生産量は全国5位であるが、高齢化や後継者不足により生産量が年々減少傾向にあるほか、栽培時期が夏期のみと限定的であるため、年間を通した収益性が課題となっている。本市では、農業所得向上や後継者の確保のほか、メロンの通年栽培技術を確立するため、ロマン荘ガラス温室において、町田式新農法による水耕栽培実証実験をしている。現在3作目となるメロンの状況など視察し、委員からは栽培方法についてなど質問や意見が出た。

両事業とも本市の畜産業・農業振興の一助となることを願いつつ、今後も議会としての立場から意見を述べていきたい。



なるみ 鳴海 はれお 晴雄 組合長(中央)



牛100頭の飼養が可能



実績のある町田式新農法